



2022年11月7日

各 位

会 社 名 水道機工株式会社
代 表 者 代表取締役社長 古川 徹
(コード番号 6403)
問合せ先責任者 専務取締役 丸山 広記
(TEL 03-3426-2131)

営業外費用発生に関するお知らせ

当社は、2023年3月期第2四半期連結決算並びに個別決算において、下記の通り営業外費用として、それぞれ持分法による投資損失、債務保証損失引当金繰入額を計上することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 持分法投資損失並びに債務保証損失引当金繰入額の概要

当社は、持分法適用関連会社である在サウジアラビア国の Suido Kiko Middle East (以下、SKME社、当社出資比率49%) が締結する工事請負契約に関し、現地金融機関が発行する銀行保証等に対して債務保証を行っております。

SKME社の業績につきましては、工事完工および引き渡しまでに必要な追加コストの発生、並びに顧客からの債権回収期間長期化による貸倒引当金の追加繰入発生等により財務状況が悪化し、2022年3月期に債務超過となりましたが、本連結累計期間におきましてSKME社では、引き続き契約工事の完工を進める一方で所要の販売費及び一般管理費並びに金融費用の発生により2023年3月期第2四半期において債務超過額が2億42百万円増加しました。(2022年3月期における債務超過に関する内容につきましては、2022年5月12日付「営業外費用発生に関するお知らせ」をご高覧下さい。)

このような状況下で、SKME社の財政状態並びに当社の債務保証差し入れ状況を勘案し当社の債務超過負担額を見積った結果、2023年3月期第2四半期においてSKME社の債務超過増加額2億42百万円全額を当社負担として、連結決算においては持分法による投資損失、個別決算においては債務保証損失引当金繰入額としてそれぞれ営業外費用として計上いたしました。

2. 業績への影響

2023年3月期連結決算並びに個別決算への影響につきましては、本日公表の「2023年3月期第2四半期決算短信[日本基準](連結)」に記載の通り、行政処分内容が現段階で未確定のため連結業績への影響額の合理的算定が困難なことから未定としており、連結業績見通しが算定可能な状況となった後、速やかに本影響額を含めて業績予想を公表いたします。

3. 今後の見通し

当社のSKME社に対する未引当の債務保証額は、2023年3月期末時点で18億32百万円(2022年9月期末換算レートベース)となり、未引当の債務保証額が残るため、今後の債務超過額の増減発生により業績へ影響を与える可能性があります。当社は、引き続きSKME社の経営管理を強化し、損失額の圧縮並びに債務保証等のリスク極小化に向けて取り組んで参る所存です。

以上